

I 調査結果の概要

1 世帯における食品使用量

世帯食（世帯において調理・食事したもので、外食、学校給食等を除いたもの。以下同じ。）における平成16年度（16年6月、9月、12月及び17年3月の各1週間）の1人1日当たりの食品使用量は全体で1,141gであった。

主な食品類別についてみると、野菜類は225g（食品使用量全体に占める割合は19.7%）、調理加工食品は213g（同18.7%）、穀類は180g（同15.7%）であった。

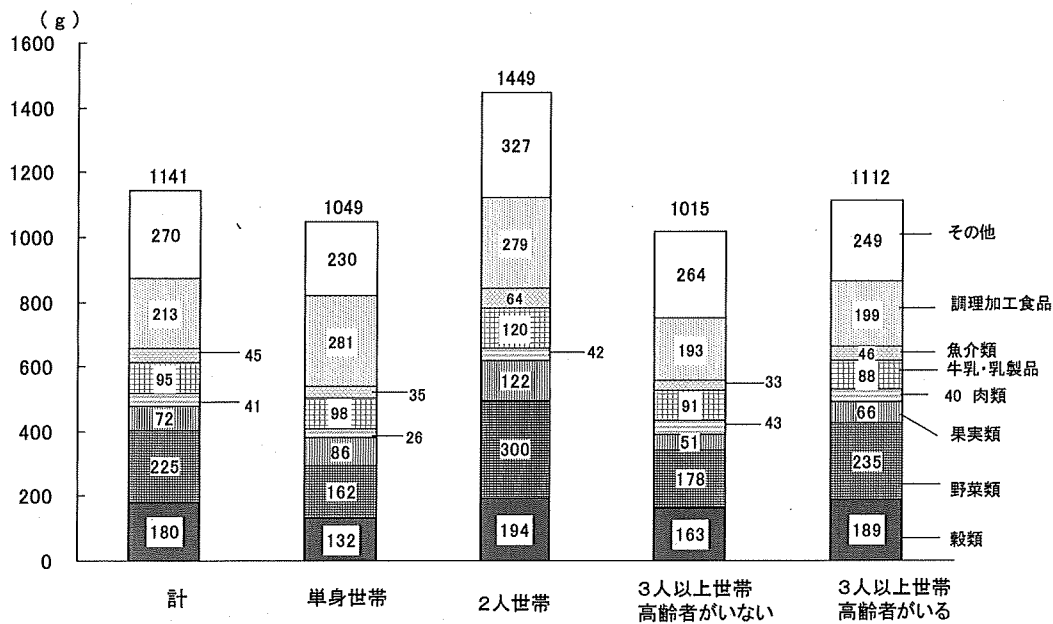
(1) 世帯員構成別の食品使用量

世帯員構成別にみると、2人世帯が最も多く1,449g、次いで高齢者のいる3人以上世帯が1,112g、単身世帯が1,049gとなっている。

2人世帯の食品使用量が多いのは、一般的に中・高齢者で構成される割合が高く、自宅で食事をするが多いためとみられる。

一方、単身世帯や高齢者のいない3人以上世帯で食品使用量が少ないのは、外食が多いことや世帯構成員に小学生以下の子どもが多いためとみられる。

図1 世帯員構成別にみた食品使用量（世帯食1人1日当たり）

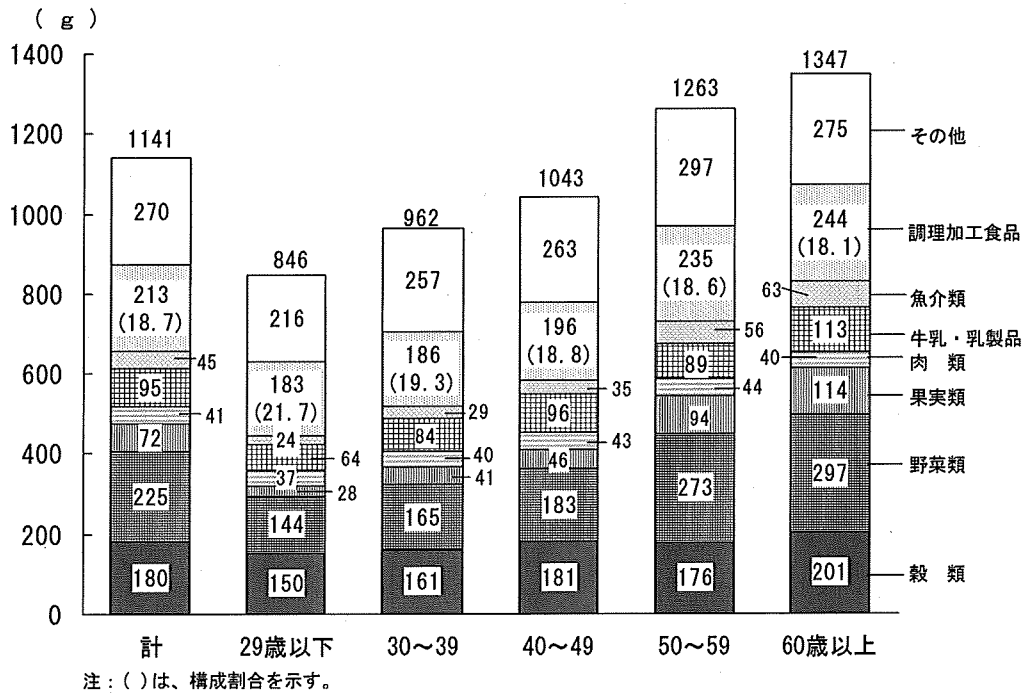


(2) 食事管理者の年齢別の食品使用量

食事管理者（食材の購入、調理などの主体となる者）の年齢別に、世帯食における1人1日当たりの食品使用量をみると、食事管理者の年齢が高まるにつれて、自宅で食事を摂ることが多くなることなどから食品使用量は多く、特に野菜類、果実類、魚介類の使用量の増加が顕著である。

また、調理加工食品については、どの年齢層でも全食品使用量の2割程度の使用となっており、食事管理者の年齢階層が低いほど、その使用割合が高くなっている。

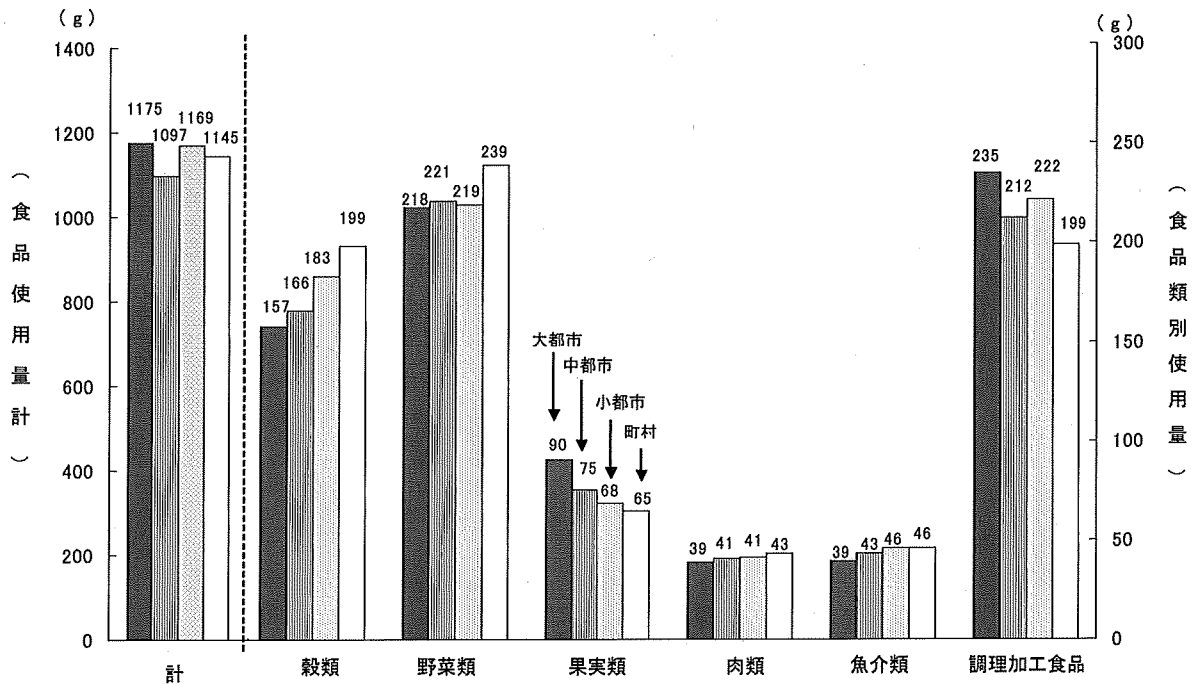
図2 食事管理者の年齢階層別にみた食品使用量（世帯食1人1日当たり）



(3) 都市階級別の食品使用量

都市階級別に世帯食における1人1日当たりの食品使用量をみると、穀類、野菜類、肉類及び魚介類は、大都市より町村の方が多く、果実類や調理加工食品は、町村より大都市の方が多くなっている。

図3 都市階級別にみた食品使用量（世帯食1人1日当たり）

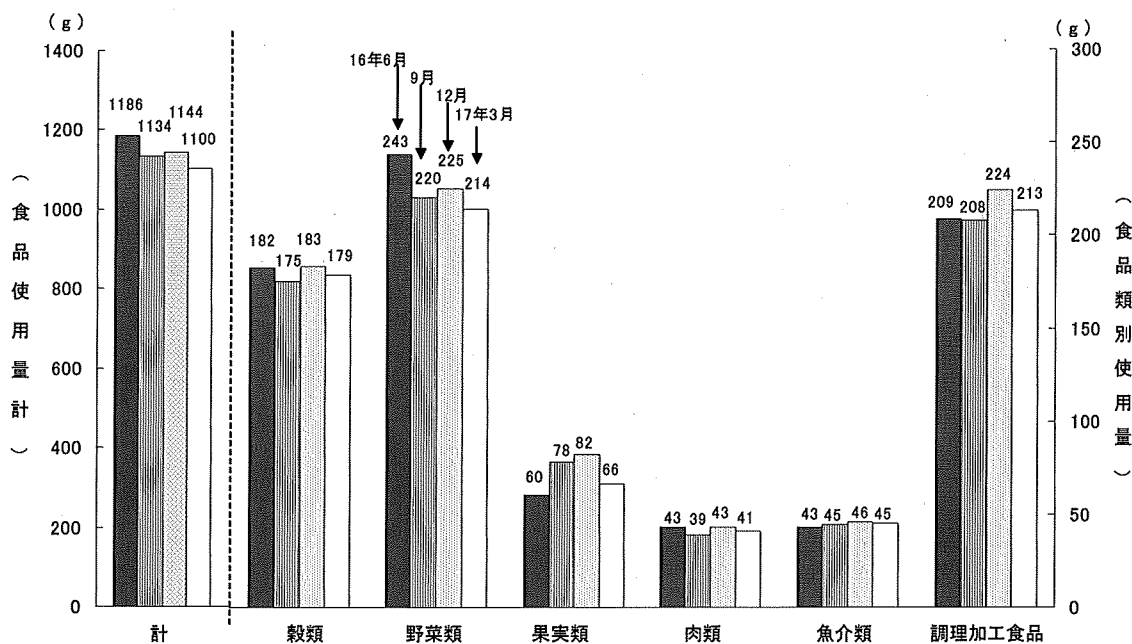


(4) 調査時期別の食品使用量

調査時期別に世帯食における1人1日当たりの食品使用量をみると、6月が最も多くなっている。

また、これを食品類別にみると、野菜類は6月、果実類は9月、12月、調理加工食品は12月が多くなっており、穀類、肉類、魚介類は大きな差はみられない。

図4 調査時期別にみた食品使用量（世帯食1人1日当たり）



2 世帯における食品ロス量と食品ロス率

(1) 食品類別の食品ロス量と食品ロス率

世帯食における1人1日当たりの食品ロス量は48.0gで、これを食品類別にみると、野菜類が20.5gと最も多く、次いで調理加工食品が8.0g、果実類が6.8g、魚介類が3.8gとなっており、これらで食品ロス量全体の約8割を占めている。

また、食品ロス率は4.2%で、これを食品類別にみると、一般的に廃棄率の高い果実類(9.5%)、野菜類(9.1%)及び魚介類(8.6%)が高くなっている。

表1 食品類別の食品使用量、食品ロス量（世帯食1人1日当たり）及び食品ロス率

食品類	食品使用量		食品ロス量						食品ロス率				
			計	廃棄			食べ残し	計	廃棄				食べ残し
				小計	過剰除去	直接廃棄			小計	過剰除去	直接廃棄		
計	1140.7	(100.0)	48.0	(100.0)	33.4	23.3	10.1	14.6	4.2	2.9	2.0	0.9	1.3
穀類	179.6	(15.7)	2.3	(4.8)	0.4	-	0.4	1.9	1.3	0.2	-	0.2	1.0
野菜類	225.3	(19.7)	20.5	(42.8)	17.0	14.4	2.6	3.5	9.1	7.5	6.4	1.1	1.6
果実類	71.5	(6.3)	6.8	(14.2)	6.0	5.2	0.8	0.8	9.5	8.4	7.3	1.1	1.1
肉類	41.3	(3.6)	1.2	(2.5)	0.6	0.4	0.1	0.6	2.9	1.4	1.1	0.4	1.5
牛乳及び乳製品	95.4	(8.4)	0.5	(1.0)	0.2	-	0.2	0.3	0.5	0.2	-	0.2	0.3
魚介類	44.5	(3.9)	3.8	(8.0)	2.4	2.3	0.1	1.4	8.6	5.4	5.1	0.3	3.2
調理加工食品	213.4	(18.7)	8.0	(16.7)	4.6	-	4.6	3.4	3.8	2.2	-	2.2	1.6
飲料類	130.1	(11.4)	0.8	(1.7)	0.3	-	0.3	0.5	0.6	0.2	-	0.2	0.4
その他	139.5	(12.2)	4.0	(8.3)	1.8	0.9	0.9	2.2	2.9	1.3	0.6	0.7	1.6

注：（ ）は、それぞれの食品類の構成割合を示す。

(2) 世帯員構成別の食品ロス

世帯員構成別に1人1日当たりの食品ロスをみると、食品ロス量、食品ロス率ともに2人世帯が最も多くなっている。

図5 世帯員構成別の食品ロス量（世帯食1人1日当たり）と食品ロス率

